

公開シンポジウム

# どうする 放射線・原子力教育

## —科学と教育との対話—

### <基本問題>

梅原利夫氏（和光大学）

### <第1部>原子力教育を問う—低線量被爆の問題とこれから—

「放射線教育をどう考えていくか」（仮題）

根岸富男氏（原子力教育を考える会）

「原子力教育をこう考える」（仮題）

松浦辰男氏（NPO放射線教育フォーラム）

### <第2部>原子力教育のこれから

「社会科で学ぶ震災と「原発」問題」（仮題）

滝口正樹氏（東京都中学校教師）

「総合的な学習の時間をつかって原子力教育を」（仮題）

小寺隆幸氏（京都橘大学）

「自然科学教育で放射線教育をどう教えるか」（仮題）

浦辺悦夫氏（学習院大学講師）

「信頼の危機・科学コミュニケーション・理科教育」

笠 潤平氏（香川大学）

日本教育学会のグループ研究から

指定討論者 子安 潤（愛知教育大学）

2011年の3.11複合大災害は現在も進行中であり、私たちは沈痛な面持ちでこの事態を見守り、かつできるところから様々な行動を起こしてきました。

この「放射線・原子力教育」の課題は、これからの私たちの生活・経済に多大な影響を与えることは必至でありながら、価値的な課題であり、多様な考え方を尊重し意見交換を率直する必要性があると痛感しています。だからこそ、科学と教育についての「対話」が必要です。

今回は、特に「低線量被爆問題」の科学的理解について立場の異なるお二人の意見をお聞きするとともに、これからのエネルギー教育・原子力教育の基本的とらえ方と教育実践・教育課題に向き合うスタンス・具体策について、率直に意見交換できればと思います。

多数の方々と自由闊達な話し合いができますことを期待しています。

2012年5月19日（土）13：30～18：00

東京学芸大学

芸術・スポーツ科学系研究棟2号棟2階会議室

（場所については次頁をご覧ください）

※資料代500円

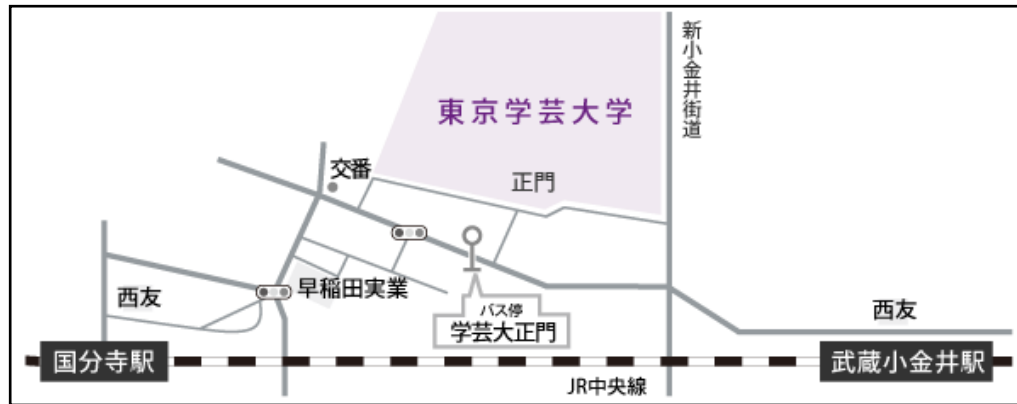
【問い合わせ先】

三石初雄（東京学芸大学）

email : hatsuo@u-gakugei.ac.jp

FAX : 042-329-7777

## 【会場までのアクセス】



<大学までの行きかた>

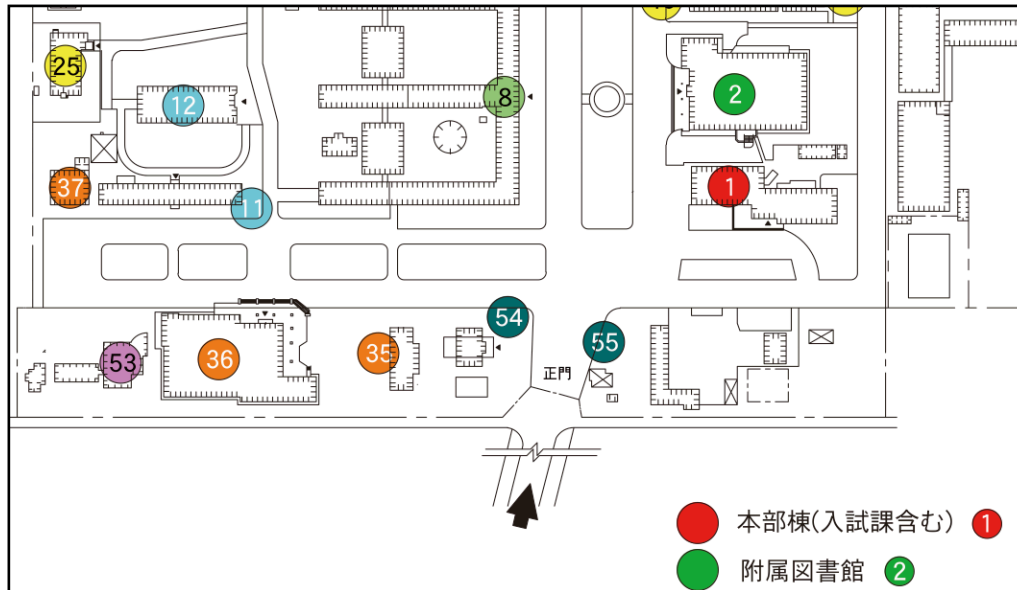
JR 武蔵小金井駅・北口より

【京王バス】〔5番バス停〕「小平団地」行に乗車、約10分。「学芸大正門」下車、徒歩約3分（徒歩の場合は約20分）

JR 国分寺駅より

徒歩約20分（JR国分寺駅北口 → 早稲田実業学校 → 連雀通り／小金井市保健センター前）

(構内案内図)



<正門からの行きかた>

左の構内案内図の12番の建物が、芸術・スポーツ科学系研究棟2号棟になります。入口を入ってすぐの階段で2階に上ると会議室があります。

【ご注意！！】

当日5月19日は、14:15頃からJR中央線が工事のため大幅に運休する予定です。